

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぱんの木すてっぴ			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 5日 ~ R7年 3月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	R7年 2月 5日 ~ R7年 3月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを固定化しないように工夫している。	来所する子どもたちの様子を見ながら、その時の子どもたちに合うように臨機応変に対応している。	プログラムの内容をスタッフで話し合い、実施後に振り返りを行って改善点など把握し、次回以降へとつながるようにしていくことでより良い適切な活動プログラムが提供できるようにしていく。
2	保護者とのやり取りを毎回行い、その中で出てきた要望・悩み等に対して必要な助言や支援を行うことができている。	スタッフそれぞれが日々子どもたちの様子を見守り観察して、気になることを共有した上でそのことを保護者の方に伝えている。また、家や園での様子も尋ねながら保護者の方のお話を傾聴し、真摯に向き合うよう心がけている。	より適切な助言や支援ができるよう研修に参加したり、スタッフ間での話し合いをしっかりとっていく。

3	子どもの状況に合わせて個別・集団の活動を組み合わせて計画を作成し、実行できている。	個別活動・集団活動の両方とも行っており、その子の特性・理解・できることを加味しながら無理なく楽しく取り組める内容となるよう心がけている。参加が難しい時にはその時のその子に合わせてスタッフが寄り添い、できることをサポートしたり個別対応も行っている。	個別活動・集団活動の内容をスタッフで話しながら決めて、様々な視点からの支援が行えるようにしていく。日々の振り返りを行い、より良い活動ができるよう改善していく。
---	---	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との関わりが希薄。	地域の方々と関われる場をなかなか設定できていない。	地域の公園遊びや地域の消防署の方に防災のことを教えていただいたり、お仕事見学など取り組みの中で地域の方と関わることを設定する。
2	地域自立支援協議会への参加が不足している。	協議会の開催日などの情報が不足している。日々の業務等が優先になっている。	開催日を把握して、その日の業務を調整して参加できるようにしていく。
3	保護者どうしの連携をなかなか支援できていない。	保護者が集まる機会をなかなか設けることができていない。	保護者会、子どもと保護者が一緒に参加できる取り組みなど検討する。